

# 2016-17年度ライオン誌日本語版委員会 第10回会議 報告書

日 時：2017年5月10日(水) 13:30～16:00

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事 佐藤 宜之 (大分ライオンズ<sup>㊤</sup>)

委員長 石井 博之 (334複合地区／三重県・津中央ライオンズ<sup>㊤</sup>)

編集長 佐藤 義則 (332複合地区／宮城県・蔵王ライオンズ<sup>㊤</sup>)

委員 久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズ<sup>㊤</sup>)

委員 佐々木忠康 (331複合地区／北海道・小樽ライオンズ<sup>㊤</sup>)

委員 渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズ<sup>㊤</sup>)

委員 中村 房雄 (335複合地区／大阪府・泉大津ライオンズ<sup>㊤</sup>)

委員 矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズ<sup>㊤</sup>)

委員 小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズ<sup>㊤</sup>)

ITアドバイザー 荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ<sup>㊤</sup>)

事務所長 近藤 正彦 (330複合地区／東京八王子陵東ライオンズ<sup>㊤</sup>)

欠席者：国際理事 安井 克之 (北海道・旭川東ライオンズ<sup>㊤</sup>)

国際理事 中村 泰久 (埼玉県・大宮北ライオンズ<sup>㊤</sup>)

ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズ<sup>㊤</sup>)



石井委員長の開会あいさつに続き、佐藤国際理事からあいさつと国際関係の報告があり、続いて石井委員長、佐藤編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

3月度の収支計算書を基に会計担当者から説明があった。今月は頒布品収入が通常月より若干多く、支出はほぼ予算通りであったため、月次決算では約144万円の収支差額が生じ、期首からの累計では8,430,534円の黒字となっている (※一般社団法人設立に伴う特別な会費収入220,376,760円を除く)。

### 2. 2017年5月号(4月20日見本／95,400部発行)出来

最新号出来について委員から意見を求めた。特集は「LCIF」で、山田實紘LCIF理事長からの寄稿と毎年指定記事として配信されるLCIF年次報告を中心に組んだ。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：佐藤義則編集長」。

### 3. 2017年6月号記事内容の確認

事前に送付された6月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集は「糖尿病の実態」で、渡邊委員の協力を得て専門家による基調原稿を掲載すると共に、海外の事例も含めた糖尿病関連アクティビティを紹介する。「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：佐々木忠康委員」。この号には国際協会指定記事として、シカゴ国際大会の公示、公式通達、国際第3副会長候補者紹介、及びアテネ国際理事会決議事項要約が入る。また前回会議で、330-B

地区が100周年記念として国際本部日本庭園の手入れを行う活動を本号に掲載することにしたが、同地区からの記事提供が間に合わなかったため、次号にニュースとして掲載することとする。

#### 4. 2017年7月号台割(案)

2017年7月号以降の台割案が提出された。

7月号特集は「100周年記念奉仕事業」で、地区、複合地区レベルの100周年記念アクティビティを紹介する。「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。この号で、新年度各地区ガバナーの紹介を行う。

8月号はシカゴ国際大会、新国際会長の方針など新年度関連記事を中心に取り上げると共に、安井克之、佐藤宜之両国際理事の活動報告を掲載する。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：小柴登司委員」。

9月号特集は「子どもの貧困」で、専門家による基調原稿とライオンズクラブによるアクティビティ事例から、その実態や課題を探る企画とする。「国際理事だより」はシカゴ国際大会で選出される新任国際理事、「編集室」は新年度委員の担当で執筆順は今年度のローテーションを継承する。

#### 5. ライオン誌デジタル化

- 前回会議で委員会としての結論を出し、一般社団法人日本ライオンズの理事会に提案していた案は、原案通り承認されたことが、一般社団法人の理事でもある佐々木委員と矢野委員から報告された。なお、2018年以降にデジタル化を推進した際の予算がどのようになるか理事会として把握したい意向であることが伝えられ、その算定根拠となる数値を検討した。その結果、以下の方針を決め、印刷版を年6回発行する場合の予算案と、上半期は現行通りの発行形態を維持する次年度予算案を作成し、各委員の承認を得た上で理事会に提出するものとする。

為替レートを105円、印刷版発送対象となる会員数を現在と同程度の93,000人として収入を算出する一方、支出ではこれまでの勘定科目に新たに「デジタル版関連費」を加え、デジタル版制作に関わる経費を印刷版経費と分けて算出する。デジタル版が主体となり印刷版は隔月発行になるのに伴い、広告料収入は大幅な減収が予測されるため、それを反映させる。今後は委員会のウェブ開催も想定されるが、今回理事会に提出する概算予算の「委員会費」は従来通りの会議形式で作成する。

- デジタル版については、一昨年(2016年)の公式版編集者会議で国際本部から提案のあった方針に従い、デジタル化小委員会において検討を重ね、9月に開催した今年度第2回会議でそれまでのウェブマガジンを「公開ページ」と「会員ページ」に分け、本部がデジタル版のプラットフォームとして推奨していたWordpressで構築し直すことを決定した。しかし、昨年10月に開催された公式版編集者会議では国際本部の方針が変わり、全公式版共通プラットフォームの採用を要請され、日本語版でも2月からその試験運用を開始した。一方、委員会として全会員を対象にデジタル化アンケートを実施し、その結果を元に印刷版は年6回発行とし、将来を見据えて国際本部提案の共通プラットフォームと併行して独自のデジタル化を推進していくことを決定した。これにより、第2回会議で決定した方針を基本に、更にその後の委員会審議及び国際本部の方針を加味し、ウェブマガジンを再構築していくことになった。

印刷版をそのままデジタル化する国際本部の共通プラットフォームでは不十分であり、デジタル版と印刷版を異なるコンテンツで構成し、両メディアを効果的に生かす形でデジタル化を推進することとする。また、国際本部からはスマートホンやタブレットなど携帯端末で見られる形式にすることが求められており、第2回会議で決定したウェブマガジンのリニューアル案に、これらの条件を追加して見積を取り直す。また、動画などデジタル版ならではのコンテンツを制作した場合の見積も取り、2018年以降の方向性を検討していく。

## 6. その他

- 国際本部からの連絡事項と、アテネ国際理事会で決定した国際理事会方針書改定のうち、第16章ライオン誌に関する項目を確認した。
  - 1) 公式版編集者会議：2017年10月2～3日、チェコ・プラハにおいて開催予定。
  - 2) 国際理事会方針書改定：指定記事の取り扱い変更、公式版に求められる発行回数の変更、国際協会補助金の額及び支払い時期の変更など。
  - 3) 携帯端末用ライオン誌アプリの開発状況。
- 佐々木委員から、一般社団法人日本ライオンズの理事会で、日本ライオンズ全体のPRについて検討を進めており、今後、素材提供や資金面でライオン誌日本語版委員会の協力を求める可能性があることが報告された。
- 事前資料として送付されたライオン誌サポーター・アンケートの内容を確認した。

閉会あいさつ 石井博之委員長

### 【次回以降委員会開催予定】

6月8日(木)	13:30～16:30	第11回会議	日本ライオンズ事務所
7月13日(木)	13:30～16:30	第12回会議	日本ライオンズ事務所
7月26日(水)	13:30～17:00	新旧合同会議	日本ライオンズ事務所 ※仮

ライオン誌日本語版  
2016-2017 年度収支計算書

2017年3月

(収入の部)

科 目		予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 額	高 摘	要
項 目							
購 読 料 収 入		111,220,000	10,099,941	91,773,381	19,446,619		
	国際協会補助金	55,500,000	5,426,941	49,929,931	5,570,069		
	会 費	55,500,000	4,673,000	41,731,200	13,768,800		
	翻訳料補助金	220,000		112,250	107,750		
ライオン誌送料		49,000,000	4,271,371	38,149,935	10,850,065		
広 告 料 収 入		2,500,000	85,536	2,245,104	254,896		
そ の 他 収 入		2,550,000	293,191	2,458,928	91,072		
	頒布品収支差額	1,000,000	280,761	979,953	20,047		
	受 取 利 息	50,000		17,596	32,404		
	雑 収 入	1,500,000	12,430	1,461,379	38,621		
特 別 収 入		220,376,750		220,376,750			
	特 別 の 会 費	220,376,750		220,376,750			
合 計		385,646,750	14,750,039	355,004,098	30,642,652		

## ( 支 出 の 部 )

科 目		予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
項 目						
直 接 出 版 費		106,640,000	9,090,791	81,405,157	25,234,843	
	印 刷 費	33,600,000	2,848,581	25,594,946	8,005,054	注1
	送 送 事 務 費	13,800,000	1,161,981	10,389,958	3,410,042	注2
	ライオン誌送料	49,000,000	4,285,856	38,475,617	10,524,383	注3
	旅 費 交 通 費	5,000,000	458,678	3,208,188	1,791,812	
	編 集 関 係 諸 費	235,000	26,815	208,443	26,557	
	原 稿 料 ・ 編 集 費	5,000,000	308,880	3,524,380	1,475,620	
	広 告 関 係 諸 費	5,000		3,625	1,375	
	そ の 他					
委 員 会 費		6,150,000	290,280	2,672,897	3,477,103	
	旅 費 交 通 費	5,000,000	290,280	2,550,660	2,449,340	
	会 議 費					
	統 合 関 連 費	1,000,000			1,000,000	
	雑 費	150,000		122,237	27,763	
資 料 整 備 費		5,700,000		6,139,800	△ 439,800	
事 務 費		51,180,000	3,931,311	35,978,960	15,201,040	
	人 件 費	30,000,000	2,498,169	22,483,521	7,516,479	
	福 利 厚 生 費	5,700,000	384,058	3,103,349	2,596,651	
	旅 費 交 通 費	1,000,000	103,568	932,740	67,260	
	通 信 費	1,500,000	58,423	1,051,633	448,367	
	事 務 用 品 費	800,000	16,327	483,499	316,501	
	函 書 費					
	備 品 ・ 消 耗 品 費	50,000		23,950	26,050	
	I T 関 連 費	2,400,000	181,656	1,710,504	689,496	
	支 払 手 数 料	80,000	3,294	53,082	26,918	
	保 守 ・ 修 繕 費					
	借 室 料	8,300,000	624,056	5,616,504	2,683,496	
	水 道 光 熱 料	400,000	33,140	257,733	142,267	
	租 税 公 課	200,000			200,000	
	減 価 償 却 費	250,000			250,000	
	雑 費	500,000	28,620	262,445	237,555	
	固 定 資 産 廃 棄 損					
( 収 入 ) - ( 支 出 )		215,976,750			215,976,750	
繰 越 収 支 差 額 金						
当 期 収 支 差 額 金			1,437,657	228,807,284	△ 228,807,284	注4
合 計		385,646,750	14,750,039	355,004,098	30,642,652	

注1 4月号95,500部発行。@27.62

注2 4月号発送手数料： 個人発送（2011クラブ・61,287冊）712,266円  
クラブ発送（1081クラブ・32,553冊）323,700円

4月号掲載誌、有料誌、PR誌送料送料及び発送手数料他、126,015円

注3 4月号送料：個人発送@62×61,287人=3,799,794円、クラブ発送（1081件）486,062円

注4 「特別の会費」収入を除く2016-17年度収支差額累計額 8,430,534円